

令和4年第27回定例公安委員会会議録

開催日時 令和4年9月29日（木）午後0時30分～午後4時

開催場所 警察本部、西部地区運転免許センター

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時20分

2 出席者

公安委員会 久本委員長 衣笠委員 勝部委員

警察本部 雲田警務部長 渡邊監察課長 前田生活安全部長
河本刑事部長 柴田交通部長 加藤警備部長
植木警察学校長 見垣情報通信部長

（事務局等～畔田公安委員会補佐室長、辻室長補佐）

3 議題事項

4 報告事項

- 鳥取県被害者支援フォーラムの開催（警務部）
- 大会出場関係報告（警務部）
- 通信指令・無線通話技能競技会の開催（生活安全部）
- 第52回全国白バイ安全運転競技大会の開催（交通部）
- 10月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

（1）鳥取県被害者支援フォーラムの開催（警務部）

警察本部

鳥取県被害者支援フォーラムは、犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができるよう社会全体で支援を行うとともに、安全で安心して暮らせる社会の実現を目指すため、犯罪被害者御遺族の講演等を通じて、社会全体による被害者支援の必要性について県民の理解を深めることを目的に、平成20年から毎年開催し

ているものである。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大により、中止となったため、今年で14回目の開催となる。開催場所は、県下全体への幅広い浸透及びセンターの存在を県下全体に広くお知らせすることを目的に、平成27年から、東部、中部、西部と場所を変えて、順次開催している。今回は、11月22日に、鳥取市のとりぎん文化会館で開催する。主催は、公益社団法人とっとり被害者支援センター、共催は、鳥取県及び鳥取県警察である。また、医師会や弁護士会などの関係機関や報道機関に講演を依頼する予定である。参加者については、広く県民に広報するほか、鳥取県犯罪被害者支援連絡協議会の会員や各警察署に対しても、参加を呼び掛けることとしている。

主な開催内容は、主催者による挨拶のほか、長年に渡り被害者支援センターが行う支援活動に携わられたボランティアの方々に対する表彰、平成13年に発生した大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件で、当時小学校2年生だった娘さんを亡くされた本郷由美子氏による講演を予定している。講演の日には、警察音楽隊による演奏を予定している。また、会場ロビーにおいて、犯罪被害者自助グループ「なごみの会」による「いのちのパネル展」を同時開催することとしている。

委員

池田小学校児童殺傷事件では、全く関係のない方が突然、犯罪被害者となった。被害者支援の必要性について県民の理解を深めるとともに、被害者支援をしっかりと行っていただきたい。

委員

公益社団法人とっとり被害者支援センターへの県民の理解や認知度を上げることが大切だと思う。しっかりと広報を行った上で、開催していただきたい。

委員

犯罪被害者の支援の必要性について、県民の理解を深めるためにも、鳥取県被害者支援フォーラムを継続して行っていただきたい。

(2) 大会出場関係報告（警務部）

警察本部

本年9月15日、広島県立総合体育館において、令和4年度中国四国管区内警察逮捕術大会が開催された。

大会は、6月に開催された令和4年度中国四国管区内警察柔道剣道大会に続く管区規模の逮捕術大会であり、感染防止措置を取りながら実施され、倉吉警察署、米子警察署等に所属する逮捕術特練員10人が出場した。

大会は、団体試合及び女子特別試合で構成され、団体試合の結果は、管区内9

県中、総合順位は9位であった。また、女子特別試合は、米子警察署の選手が出場し、結果は、予選リーグ敗退の結果であった。

委員

大会というものは、各県警察が切磋琢磨し、技術等を向上させるために行っているものだと思う。引き続き、切磋琢磨して、技術等の向上に取り組んでいただきたい。

委員

今大会で学んだ技術等を、今後の取組に還元していただきたい。

委員

県内外の優秀な指導者から指導を受け、しっかり技術を習得していただきたい。

(3) 通信指令・無線通話技能競技会の開催（生活安全部）

警察本部

本年9月30日、警察本部において、通信指令・無線通話技能競技会を開催する。この競技会は、第一線で働く地域警察官の無線通話技能の向上と事案対処能力の向上を図り、次の通信指令を担う人材を育成することを目的としており、各警察署から、1チーム2人が参加する。競技は、2人が警察署の通信指令担当者役と現場の警察官役に分かれ、指示される事案想定に基づいて、事案判断能力や無線通話技能などを競うものである。参加者18人のうち、3人が女性であった。

本競技会の結果を踏まえて全国大会の選手を選考しており、全国大会を目指して取り組んでいきたい。

委員

こうした機器の操作は基本的なことであり、その力を磨くことは大切なことである。

委員

現場の状況を実線で報告することは重要であるので、この競技会を通して、現場の状況を正確に伝える能力や事案を的確に判断して指示を出す能力を身につけるよう努めていただきたい。

委員

最近も通信会社が通信できないような事態が起こった。他県との連携が必要となる事案もあると思うので、警察活動が円滑に行えるよう、無線通話技能の向上と事案対処能力の強化を図っていただきたい。

(4) 第52回全国白バイ安全運転競技大会の開催（交通部）

警察本部

本年10月8日から10月10日までの3日間、茨城県ひたちなか市内において、第52回全国白バイ安全運転競技大会が開催される。

この大会は、白バイ乗務員の運転技能を向上させ、受傷事故の絶無を期すとともにその士気の高揚を図り、道路交通の安全の維持に資することを目的に開催される。今大会から、女性白バイ隊員のバランス競技を正式競技に採用して実施することとなった。

大会には、女性の部と男性の部があり、今回、本県は、女性の部には出場しない。男性の部には、交通機動隊員選手2人、補欠1人が出場し、競技は、バランス走行操縦競技等4種目が行われる予定である。

委員

運転技術の高い人が隊の中にいると、隊全体の技術も高まってくると思うので、引き続き、運転技術の向上に努めていただきたい。

今後、当県からも女性の部に参加できるようになることを期待する。

委員

精神面が非常に影響する競技だと思うが、日頃の練習の成果が最大限に出せるよう頑張っていたきたい。

委員

白バイは、高い運転技術が必要だと思うので、しっかり訓練して、この競技大会も頑張っていたきたい。

(5) 10月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

警察本部

10月中の入校関係は、初任科第96期の採用時教養を引き続き行う。専科は特殊犯専科等の8課程、任用科は3課程を予定している。

行事、訓練関係は、10月3日に、初任科第95期の卒業式を警察学校で行うほか、10月24日から10月28日の5日間、初任科第96期生の制服実務研修を行う予定である。

9月中は、公安委員会委員長による訓育、校内逮捕術大会、鳥取地方気象台の職員による災害講習等を行った。

委員

訓育では、大変真剣な眼差しの中で、お話をさせていただいた。

学生に対しては、警察という組織は平和と公正を守る組織であること、これからの努力、精進がSDGsへの貢献そのものであるということ話を話した。

学生には、この半年間、警察学校でしっかり鍛錬していただき、大変感謝している。今後の活躍に期待している。

委員

10月中は、専科、任用科等により90人近くが入校するが、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、教養をしっかり行っていただきたい。

行事、訓練関係の中で報告を受けた初任科生の卒業式について、卒業式には保護者は出席するのか。

警察本部

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在は、保護者の出席は控えていただいている。今後、感染状況を考慮しながら、保護者の出席も検討していきたい。

委員

一人一人の能力向上が、県警察全体のレベルアップにつながるのので、教養や訓練をしっかり行っていただきたい。一人一人が大切な警察官であるので、誰一人欠けることなく、現場に送り出していただきたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

道路交通法に基づき、交通指導課から聴聞1件、運転免許課から聴聞1件について、事案概要、処分理由、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 報告事項

- ・中国四国管区内公安委員会連絡会議関係
- ・審査請求の受理

- ・ 監察報告
- ・ クロスボウ所持等の規制の経過措置期間の終了
- ・ 110番映像通報システム
- ・ G7広島サミット
- ・ 警護警備予定

4 決裁

- ・ 公文書開示請求に係る審査請求の鳥取県情報公開審議会への諮問
- ・ 公安委員会規程の一部改正
- ・ 公安委員会訓令の一部改正

5 公安委員会委員間の事前検討・協議等

6 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。